

# トウカイコモウセンゴケ

## モウセンゴケ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

*Drosera tokaiensis* (Komiya et C.Shibata) T.Nakamura et K.Ueda

### 選定理由

産地が極めて限られており、全国的な分布からも貴重である。本種は葉身と葉柄の部分が移行的で、区別がはっきりしない。(現況: R-)

### 形態

モウセンゴケ (*D.rotundifolia* L.) では、葉柄の部分がはっきりし、葉身が円形に近い。

### 国内分布

東海地方、近畿地方、四国地方、北陸地方。

### 県内分布

南加賀区。

### 生態など

小型多年草。開花期は5~9月。腺毛の粘液で虫を捕まえる。

### 生育環境

湿地に生育する。

### 危険要因

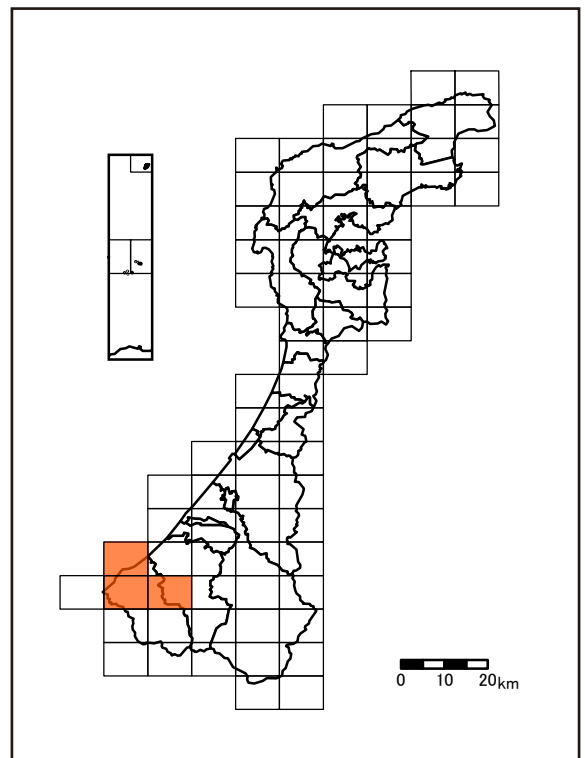
森林伐採、湿地開発、土地造成、道路工事、園芸採取、管理放棄、自然遷移。

### 特記事項

本分類群はモウセンゴケ(2倍体)とコモウセンゴケ(4倍体 *D.spathulata* Labill.)との雑種に起源する6倍体の植物である(中村・植田, 1991)。



本多郁夫・2005年6月21日・小松市



県内の分布